

(平成29年度 埼玉県委託事業)

平成29年度

薬局を活用した糖尿病早期発見・受診支援普及事業

報 告 書

平成30年2月

一般社団法人 埼玉県薬剤師会

目 次

第1章 事業の概要

1	はじめに	1
2	背景	1
3	目的	2
4	実施方法	
	(1) 研修会の実施場所の選定	2~3
	(参考) 埼玉縣市町村一覧地図	3
	(2) イベント地区の選定	3~4
	(3) 実施方針の検討	4
	(4) 実施方法の検討	4
	(5) イベントでの測定方法・受診勧奨方法	4
	(6) アンケート調査の実施	5

第2章 事業の実施結果

1	薬局を活用した糖尿病早期発見・受診支援普及のための研修会	
	(1) 県内向け	6
	(2) 市町村向け	6
2	イベントにおける簡易検査実施状況	6
3	アンケート調査結果	7
4	結果に基づく検証・考察	8

第3章 効果と課題

1	事業実施の効果	8~9
2	課題と取り組み	9

第4章 参考資料

1	薬局を活用した糖尿病早期発見・受診支援のための研修会次第・資料	9
2	マニュアル	9
3	検体測定室に関するガイドライン	9
4	承諾書	10
5	アンケート調査	11

第1章 事業の概要

1 はじめに

一般社団法人埼玉県薬剤師会では、平成27年度及び平成28年度に埼玉県から糖尿病早期発見受診支援事業を受託し、幸手地区、川口地区において、薬局の検体測定室を活用し、ヘモグロビンA1cの簡易検査の結果から糖尿病の可能性のある者及び糖尿病に移行する可能性のある者に対し、医療機関への受診を勧奨するモデル事業を実施した。

平成29年度は、埼玉県から事業を受託し、平成27年度及び平成28年度に実施した薬局における簡易検査による糖尿病早期発見受診支援のモデル事業の成果を県内薬局及び市町村に周知し普及を図った。

また市町村の健康イベント等と連携する糖尿病簡易検査及び保健指導等の実施にあわせて、かかりつけ薬剤師・薬局による特定健診等未受診者の受診率向上を図った。

2 背景

現在日本においては、高齢化が進む中で生活習慣と社会環境の変化により糖尿病患者数が増加し課題となっている。

糖尿病は放置すると網膜症・腎症・神経障害などの合併症を引き起こし、患者のQOLを著しく低下させるのみならず、医療経済的にも大きな負担を社会に強いることとなる。

平成29年9月厚生労働省が公表した、平成28年「国民健康・栄養調査」によると、日本での糖尿病有病者と糖尿病予備群は、いずれも約1,000万人¹⁾と推計されていた。埼玉県の糖尿病患者数は、平成28年には33万人²⁾と、平成13年に比べ2.2倍となっている。このうち、医療機関を受診していない方が12万9千人おり、約3人に1人が治療を受けていない状況である。

糖尿病は自覚症状が少ない病気だが、早期発見・治療によって症状の悪化を防げる病気であるため、自己のヘモグロビンA1cの値を知っておくことは重要である。

本事業では、測定結果を受検者に示し、事前に地区医師会と打ち合わせたヘモグロビンA1cの値を超えた方に対し、薬剤師が適切に医療機関への受診を勧奨し、併せて健康相談や生活習慣等についてアドバイスすることが出来る。

¹⁾ 厚生労働省 平成28年「国民健康・栄養調査の結果」から

²⁾ 埼玉県ホームページから

3 目 的

平成 27 年度及び 28 年度に実施した、薬局における簡易検査による糖尿病早期発見受診支援のモデル事業の成果を県内薬局及び市町村に周知し、県内薬局における検体測定室による簡易検査の普及を図る。

そして、検体測定室未設置の薬局・薬剤師が糖尿病の可能性のある方、及び糖尿病に移行する可能性のある方を早期発見し、医療機関への受診を勧奨することにより、患者の生活習慣の改善の支援に役立てる。

また、市町村の健康イベント等と連携した糖尿病簡易検査及び保健指導等の実施にあわせて、特定健診等未受診者の受診率向上に向けた薬剤師会との連携及びかかりつけ薬剤師・薬局の活用を促進する。

4 実施方法

薬局における簡易検査による糖尿病早期発見受診支援のモデル事業の成果について県内薬局及び市町村を対象とする研修会³⁾を実施した。

またイベントでは、各地域薬剤師会の薬剤師が来場者に対し、糖尿病の指標であるヘモグロビン A1c の簡易検査を実施し、生活習慣病の相談に応じるとともに測定の結果が基本的に 6.0%以上の方に対して医療機関への受診を勧奨した。

3) 研修会資料別冊 1～5

(1) 研修会の実施場所の選定

埼玉県薬剤師会地域保健医療計画推進委員会で検討した結果、県内の薬局 (2,752⁴⁾) に周知する研修会は、埼玉県を 4 ブロックに分けた地域で実施、市町村向けの研修会は、地域住民の保健指導や健康管理を主な仕事とする保健師が参加する研修会で実施することとした。

4 ブロックの概要

ブロック	市町村	薬局数
東 部	(11 市)草加市・加須市・久喜市・白岡市・春日部市・越谷市・幸手市 吉川市・八潮市・三郷市・蓮田市 (3 町)松伏町・杉戸町・宮代町	595
西 部	(15 市)川越市・富士見市・坂戸市・鶴ヶ島市・朝霞市・和光市 新座市・志木市・所沢市・狭山市・入間市・飯能市・日高市 東松山市・ふじみ野市 (10 町)鳩山町・毛呂山町・越生町・三芳町・小川町・ときがわ町・嵐山町	846

	川島町・滑川町・吉見町 (1村)東秩父村	
中 央	(8市)さいたま市・蕨市・戸田市・川口市・上尾市・桶川市・北本市 鴻巣市 (1町)伊奈町	970
北 部	(6市)秩父市・本庄市・熊谷市・深谷市・行田市・羽生市 (8町)長瀨町・皆野町・小鹿野町・横瀬町・上里町・神川町・美里町 寄居町	341
合 計	63市町村 (40市・22町・1村)	2,752

4) 平成27年 埼玉県保健衛生十年報 統計資料から

(参考・埼玉州市町村一覧地図)



(2) イベント地区の選定

埼玉県薬剤師会地域保健医療計画推進委員会で検討した結果、地域医師会が当該事業に協力的な以下の5地区で実施することになった。

- ①白岡市
- ②さいたま市岩槻区
- ③さいたま市浦和区
- ④久喜市
- ⑤鴻巣市

5 地区の概要

地 区	人 口
白 岡 市	52,183 人
さいたま市岩槻区	110,534 人
さいたま市浦和区	158,969 人
久 喜 市	151,969 人
鴻 巣 市	117,853 人
埼 玉 県	7,310,697 人

※人口は、埼玉県推計人口 平成 30 年 1 月 1 日現在 報告から

(3) 実施方針の検討

検体測定に関しては、検定測定室に関するガイドライン(平成 26 年 4 月 9 日付け医政第 0409 号第 4 号 厚生労働省医政局通知)⁵⁾に沿った手順で行うこととした。結果として、受診を勧奨する場合には、地域医療機関と連携を図った。

⁵⁾ 別冊 7

(4) 実施方法の検討

県内の薬局に対する研修会は、本会から各薬局に F A X で通知を行い、市町村向けの研修会は、埼玉県市町村保健師協議会と連携し周知してもらうこととした。

またイベントにおいては、各地区の市報等で案内をしてもらい地域住民へ事業を周知し、使用する検査機器は、全ての地区で cobas b 101 (ロシュ・ダイアグノスティックス社製)とした。

測定対象は、測定を希望した者のうち、糖尿病治療中の者、抗血栓薬を服用しているか出血性疾患の既往歴があるかを確認し、該当する者を除いて選定した。

参考：測定試薬ディスクは、cobas b 101 用の試薬ディスクを使用
針は、セーフティプロプラスを使用

(5) イベントでの測定方法・受診勧奨方法

イベントの参加者の中で検体測定希望者の募集を行い、希望者に糖尿病早期発見・受診支援事業とあわせて「申込書兼承諾書」の説明を行った。

承諾者には「申込書兼承諾書」にサインをもらい、測定手順に沿って測定を行った。

測定結果でヘモグロビン A 1 c 6.0%以上の方には、事前に連携をとっている地元医師会所属の医療機関への受診勧奨を行った。

(6) アンケート調査の実施

県内薬局における検体測定室による簡易検査の普及を図る目的から、研修会及びイベント終了後、県内 63 市町村の状況を把握するため、薬局での糖尿病早期発見・受診支援事業に関するアンケートを 37 地域薬剤師会で実施した。

37 地域薬剤師会の概要

地域薬剤師会	市町村	
さいたま市	(1市)	さいたま市
上尾伊奈	(1市)	上尾市、伊奈町
	(1町)	伊奈町
朝霞	(4市)	朝霞市、志木市、和光市、新座市
入間	(1市)	入間市
小川	(3町)	小川町、ときがわ町、嵐山町
	(1村)	東秩父村
桶川	(1市)	桶川市
春日部	(1市)	春日部市
加須	(1市)	加須市
上福岡・大井	(1市)	ふじみ野市
川口	(1市)	川口市
川越	(1市)	川越市
北本	(1市)	北本市
行田	(1市)	行田市
久喜白岡	(2市)	久喜市、白岡市
熊谷	(1市)	熊谷市
鴻巣	(1市)	鴻巣市
越谷	(1市)	越谷市
本庄・児玉	(1市)	本庄市
	(3町)	上里町、神川町、美里町
幸手	(1市)	幸手市
狭山	(1市)	狭山市
草加	(1市)	草加市
秩父	(1市)	秩父市
	(4町)	長瀨町、皆野町、小鹿野町、横瀬町
所沢	(1市)	所沢市
戸田	(1市)	戸田市
蓮田	(1市)	蓮田市
羽生	(1市)	羽生市
坂戸鶴ヶ島	(2市)	坂戸市、鶴ヶ島市
	(3町)	鳩山町、毛呂山町、越生町
飯能	(2市)	飯能市、日高市
杉戸・宮代	(2町)	杉戸町、宮代町
東松山	(1市)	東松山市
	(3町)	川島町、滑川町、吉見町
深谷	(1市)	深谷市
富士見・三芳	(1市)	富士見市
	(1町)	三芳町
三郷	(1市)	三郷市
八潮	(1市)	八潮市
吉川	(1市)	吉川市
	(1町)	松伏町
寄居	(1町)	寄居町
蕨	(1市)	蕨市

第2章 事業の実施結果

1 薬局を活用した糖尿病早期発見・受診支援のための研修会

(1) 県内薬局向け

開催日	開催場所	参加薬局 (参加人数)	参加地域
平成29年6月4日(日)	ウエスタ川越(川越市)	98薬局(98名)	全ブロック
平成29年7月9日(日)	マロウドイン熊谷(熊谷市)	26薬局(35名)	北部ブロック
平成29年7月30日(日)	越谷市中央市民会館(越谷市)	50薬局(65名)	東部ブロック
平成29年8月6日(日)	埼玉県県民健康センター(さいたま市)	127薬局(150名)	中央ブロック 西部ブロック
合 計		301薬局(348名)	

(2) 市町村向け

開催日	開催場所	参加市町村 (参加人数)
平成30年2月23日(金)	With You さいたま(男女共同参画推進センター)(さいたま市)	63市町村(63名)
合 計		63市町村(63名)

2 イベントにおける簡易検査実施状況

開催日	地域名	場所	イベント名	測定 人数	糖化HbA1c 6.0%以上	受診 勧奨者数
平成29年8月5日(土)	白岡市	白岡市役所	白岡まつり	85名	55名	17名
平成29年10月15日(日)	さいたま市 岩槻区	さいたま市 岩槻区文化公園体育館	さいたま市薬剤師会 岩槻やまぶき祭り	77名	27名	11名
平成29年11月5日(日)	さいたま市 浦和区	浦和コミュニティセンター	浦和区 保健まつり	129名	35名	1名
平成29年11月5日(日)	久喜市	久喜市文化会館	第6回久喜市 健康づくり食育推進大会	62名	33名	13名
平成29年11月12日(日)	鴻巣市	クレアこうのす (鴻巣市文化センター)	鴻巣健康まつり	80名	52名	52名
合 計				433名	202名	94名

3 アンケート調査結果

(1) 地域薬剤師会として平成 29 年度に HbA1c の簡易検査に関して市町村（行政）からの補助金等により事業を実施していますか？

【回答】

- 実施している・・・2 地域薬剤師会（川口・行田）
- 実施していない・・・35 地域薬剤師会

(2) 平成 30 年度の計画を教えてください。 ※（1）で実施している地区のみ回答：対象 2 地域薬剤師会

【回答】

- 市町村（行政）からの補助金等により継続して実施する・・・2 地域薬剤師会（協力薬局数：川口 21 薬局・行田 12 薬局）

(3) 貴地域薬剤師会では、会員薬局において検体測定室を設置して HbA1c の簡易検査を実施して糖尿病の早期発見・受診支援をすることを検討していますか？ ※（1）で実施していない地区のみ回答：対象 35 地域薬剤師会

【回答】

- 既に実施している・・・1 地域薬剤師会（幸手）
- 検討している・・・5 地域薬剤師会（鴻巣・草加・秩父・羽生・飯能）
- 検討していない・・・29 地域薬剤師会

(4) HbA1c の簡易検査の実施にあたっての課題について教えてください。（複数回答可）

※（3）で既に実施している、検討している地区のみ回答：対象 6 地域薬剤師会

【回答】

- 参加する薬局が少ない・・・3 地域薬剤師会
- 地域医師会の協力が得られない・・・4 地域薬剤師会
- その他・・・1 地域薬剤師会
 - ・薬局の構造上、設置が困難
 - ・さらに参加薬局を増やしたい

(5) HbA1c の簡易検査による糖尿病の早期発見・受診支援事業の実施に関して地域薬剤師会として市町村（行政）に働きかけたことはありますか？ ※（3）で既に実施している、検討している地区のみ回答：対象 6 地域薬剤師会

【回答】

- ある・・・2 地域薬剤師会（鴻巣・幸手）
- ない・・・4 地域薬剤師会

(6) 平成 30 年度、地域薬剤師会として市町村における健康まつり等で HbA1c の簡易検査を実施する計画（予定）がありますか？ ※（3）で既に実施している、検討している地区のみ回答：対象 6 地域薬剤師会

【回答】

- 計画（予定）がある・・・3 地域薬剤師会（鴻巣・幸手・秩父）
- 計画（予定）はないが、できたら実施したい・・・1 地域薬剤師会
- 計画（予定）はない・・・2 地域薬剤師会

4 結果に基づく検証・考察

平成26年4月9日、厚生労働省医政局長より「検体測定室に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という）が示された。

このガイドラインでは、平成26年4月1日以降、利用者自らが採取した検体について民間事業者が血糖値や中性脂肪などの生化学的検査を行う事業（以下、「検体測定事業」という。）が、診療の用に供する検体検査を伴わないことから、衛生検査所の登録が不要とされている（臨床検査技師等に関する法律に基づく告示改正）が、その一方医師の診断を伴わない検体測定事業の結果のみをもって、利用者が健康であると誤解するといった事態も生じかねないため、利用者への健康診断の定期受診の勧奨を求めることとされている。

平成29年度、ヘモグロビンA1cの簡易検査に関して市町村（行政）からの補助金により2地域薬剤師会（川口・行田）、計33薬局（川口21・行田12）が事業を実施している。

薬局で検体測定室を設置するに当たっては、構造設備の整備や検査機器の購入等に費用がかかり、自主的に設置するためには困難な部分があり、行政からの補助金等がある程度必要と考えられる。

薬局の検体測定の結果は、単なる伝達（測定値と比較できる正常値や要注意値などの説明）をするのではなく、ヘモグロビンA1cの測定値が6.0%を超えている場合には、医療機関への受診勧奨を行う必要があるが、受診勧奨を行うためには、事前に地元医師会と十分な連携がとられていなければならない。

イベントでの簡易検査の測定者は、5地区で計433名と大変反響があった。検体測定室のブースでは各地域薬剤師会の薬剤師が協力し、指先穿刺と血液採取をサポートし、その結果、受診勧奨対象となるヘモグロビンA1c6.0%以上の人は46.6%（計202名）を占めた。

研修会やイベントに参加した薬剤師からは「職能を発揮することができ、生活者と直に接することで距離感が縮まり、喜びややりがいを感じることもできた」との声も上がっている。

薬局が健康サポート薬局を目指す上からも、検体測定室のもつ役割を改めて考えさせられる結果となった。

第3章 効果と課題

1 事業実施の効果

検体測定室未設置の薬局薬剤師は、研修会に参加したことにより検査機器の取り扱い易さを実感するとともに、検査結果を説明することにより医療機関への受診勧奨をすることができることに自信を持った。

イベントにおける簡易検査では、検査の結果を受検者本人に示すことで受検者自身が自ら

の健康を意識するようになった。併せて薬剤師が受検者に特定健診を定期的を受診することの重要性について説明することにより、健診率の向上につながるものとする。

また、市町村に対しては、平成 28 年度事業終了後独自に予算を計上し、平成 29 年度から地域薬剤師会に補助して市民のヘモグロビン A 1 c の検査を実施している川口市の例を挙げ、薬局と連携した事業の推進について働きかけたところ、当該事業について理解をし、興味を示した。

2 課題と今後の取組

検体測定室による受検者自らが採血する検査は、地域医師会の理解と連携がなくして事業化はできないものである。当該事業が糖尿病の早期発見につながり、かかる医療費の適正化に十分貢献することや検査結果を待つ間の薬剤師の声掛けによる特定健診受診の向上に寄与することなどの観点から、今後も地域医師会に理解をいただくため働きかけるとともに、市町村に対しても働きかけて参りたい。

かかりつけ薬剤師・薬局になるためには、薬局は、薬局者がいつでも薬や健康に関して気軽に相談できる環境を作ることが重要である。検体測定室はその環境の一つのツールとして役立つことから、埼玉県薬剤師会として会員に推奨して参りたい。

第 4 章 参考資料

1 薬局を活用した糖尿病早期発見・受診支援のための研修会資料

(1) 県内薬局向け

- ・平成 29 年 6 月 4 日開催分 …… 別冊 1 のとおり
- ・平成 29 年 7 月 5 日開催分 …… 別冊 2 のとおり
- ・平成 29 年 7 月 29 日開催分 …… 別冊 3 のとおり
- ・平成 29 年 8 月 6 日開催分 …… 別冊 4 のとおり

(2) 市町村向け

- ・平成 30 年 2 月 23 日開催分 …… 別冊 5 のとおり

2 マニュアル

別冊 6 のとおり

3 検体測定室に関するガイドライン

別冊 7 のとおり

4 承諾書

- ・平成 29 年 8 月 5 日(白岡市) …………… 別冊 8 のとおり
- ・平成 29 年 10 月 15 日(さいたま市浦和区) …… 別冊 9 のとおり
- ・平成 29 年 11 月 5 日(さいたま市浦和区) …… 別冊 10 のとおり
- ・平成 29 年 11 月 5 日(久喜市) …………… 別冊 11 のとおり
- ・平成 29 年 11 月 12 日(鴻巣市) …………… 別冊 12 のとおり

5 アンケート調査

別冊 13 のとおり